

新庁舎建設特別委員会の概要（第４３回）

- 1 日 時 第４３回 令和７年７月７日（月）
 １３時３０分～１５時４８分
- 2 場 所 第１議会委員会室
- 3 欠 席 森厚夫委員
- 4 内 容 1 かわらばん vol. 6 について
 2 市民説明会について
 3 その他

かわらばん vol. 6 の市民からの反応と市民説明会の開催について協議を行った。

1 かわらばん vol. 6 について

6月13日にかわらばん vol. 6 が発表され、ホームページやSNSで公表され、7月号の広報みのかもにも折り込まれたが、担当課には市民からの反応はほとんどなかったと聞いている。市民からの反応はどうであったか。

【委員会で出た主な意見】

〈委員〉 市民と話した中や電話がかかってきた中では、否決されたということが小さな字で書いてあることもあり、もう決まったのかという問い合わせが多かった。

〈委員〉 かわらばんを見ると市の方針を決定ということが書いてあり、普通の人が見るともう決まったという風に取りられた方が多かった。

〈委員〉 件数は多くなかったが、どこでもよいから早く決めてという声があった。

〈委員〉 関心が高まったということが評価できるが、思った以上にまだ高まっていない。どうやってこれからもっと関心を高めていけるかというのがこれからの課題である。

2 市民説明会について

市民説明会については、執行部が説明会を開催するように意見書を出したが、執行部からは議決後に説明会を開くとの回答が来た。議会として、今後の対応をどうしていくのか。

〈委員〉 市長に執行部で説明会を行うということの何がデメリットなのか聞きたい。

〈委員〉 回答では、新庁舎整備地が正式決定していない段階で市が主催する市民説明会を開催したとしても、新庁舎を政策決定した理由を示すだけとしているが、説明

してほしいと言っているのは、新庁舎を政策決定した理由である。正式決定後でないと不確定な要素を伝えることになるということは、理由にならない。

〈委員〉 議会は否決しており、本来だったら再度考え直して別の候補地を出すなりするところをもう一回出してきたということは、そこにしたいということの思いがあってのことだと思う。そのことについて、執行部はしっかり説明をすべき。

〈委員〉 混乱するだけであり、説明会の開催は必要ない。優先順位として命を守るところから始まって、今に至って3年間で2億円使っている。ロードマップに沿って決めるとしてきた。

〈委員〉 かわらばんでは、反響がなく市民に伝わっていない。議決前に説明会を開催してほしい。

〈委員〉 市長に参加してもらい、説明会について意見を言う会議を開いてもらいたい。

〈委員〉 執行部と議員が腹を割った協議を行える、懇談会のような機会を設けてほしい。

〈委員〉 議会が説明会を主催することは、合理性がなく、意見書の中で決定した理由しか説明できないとあるが、それを説明してもらえばよい。

〈委員〉 説明会の質疑については、行わないで説明があればよいとしていたはずである。

〈委員〉 40カ所は無理としても、市長が各8地区を回って説明をして市民が納得すれば、それが一番である。

【まとめ】

- ・説明会の開催についての意見書を執行部に再度提出する。(賛成10人)
- ・市長に新庁舎建設特別委員会に出席を要請し、協議を行う。(賛成12人)
- ・議会の主催で、説明会を開催する。(賛成6人)

説明会開催の意見書を再度執行部に提出すること、市長に新庁舎特別委員会に出席を求めることを賛成多数で決定。議会主催での説明会の開催は賛成少数のため、行わないことに決定。